



# “とちぎ”から世界を考える

## ～外国人の立場に立って～



### ねらい

世界には、それぞれ生活習慣も言葉も思想も異なる多くの人々が暮らしています。また、身近にも多くの外国人が生活しています。外国人の立場に立って、日常生活における文化や生活習慣の違いによる悩みについて話し合うことをとおして、相手の立場を考え、受け入れ、尊重し、よりよい人間関係を築いていくことについて考えます。

◇時 間◇	45分	◇人 数◇	1グループ5・6人
◇準備物◇	ワークシート①②、付箋紙、大きめの紙（A3程度）、マジック		

### 展 開

- 1 グループで、知っている外国人の名前を出し合います。  
(例)・バラク・オバマ大統領 ・クリスティアーノ・ロナウド選手  
・ジャッキー・チェン ・ALT（外国語指導助手）のマイケル先生 等
- 2 ワークシート①の質問について回答し、グループで話し合います。

#### 【やり方】

- ① 「正解」と思う記号を個人で選ぶ。
- ② 選んだ回答について、グループで話し合う。
- ③ 質問の答えと説明を聞く。
- ④ 気付いたことや感じたことなどについて、グループで話し合う。

- 3 外国人の視点から、日常生活における文化や生活習慣の違いによる悩みなどを、グループで話し合います。

#### 【やり方】

- ① 個人で思い付いたことを付箋紙に書く。  
(例) 服装の習慣が違う。  
道案内の標識の漢字が難しい。
- ② 出た内容について、分類する。
- ③ グループで話し合う。

- 4 日本に住んでいる外国人が住みやすい社会にするためには、どのようなことができそうか話し合います。
- 5 活動についてふりかえりをします。



## ファシリテーターの言葉かけ例



**展開1** みなさんが知っている外国人を2、3人思い浮かべてください。有名な人、身近な人、どなたでも構いません。（間を置く。）

今思い浮かべた人の名前を、グループで出し合ひましょう。もし名前だけでは分かりにくいと思う時は、説明を加えてください。

**展開2** それでは、ワークシート①を見てください。世界には、およそ72億人の人がいますが、それを100人の村とします。その村について、正解だと思う記号を選んでください。5問目からは、私たちが暮らしている日本、そして栃木県に関する質問です。まずは、個人で正解を選んでください。

（適当に時間をとる。）では、どんな回答を選んだか、グループで話し合ひましょう。もし、他の方の意見を聞いて「なるほど」と思った方は、答えを変えても構いません。

（活動後…）では、解答です。（答えと解説P23・24を読みあげる。）

今の活動をとおして気付いたことや感じたことをワークシート②に書いてみましょう。そして、グループで話し合ってみましょう。

**展開3** 活動をとおして、世界には様々な人がいるということを感じていただけたと思います。では、私たちの暮らしと結び付けて考えてみましょう。日本には多くの外国人が住んでいます。また、観光で日本を訪れる外国人もいます。外国人の立場から考えられる、文化や生活習慣の違いによる悩みなどについて、思い付くことを付箋紙に書いてください。（道案内の漢字が難しい、宗教上の理由で食事内容が制限される、といったことなどを例に出す。）

今書いたものを発表しながら紙に貼っていきましょう。班全員の意見が貼り出されたら、内容ごとにまとまりを作ってみてください。その際、どういった分類なのかがわかるように、マジックで書いておいてください。まとまりが作れたら、付箋紙の記入内容をもとにグループで話してください。

（時間に余裕があるときは会場内をフリーで移動し、他グループで出ている意見について共有し合う。）

**展開4** 私たちの住む地域には、日本人だけでなく外国人の方もいます。お互いが住みやすい社会になるためにはどんなことができそうか、話し合ってみましょう。

（出た意見について、グループの代表数名に発表してもらおう。）

**展開5** 今日の活動のふりかえりをしましょう。今日の活動をとおして、気付いたことや感じたことをワークシート②に書いてみましょう。（時間をとる。）

世界には多くの人がかいて、それぞれ様々な状況のもとで生活していることについて、考えていただけましたか。

国や地域、生い立ちなど、自分と違う文化や価値観を理解し、お互いの立場を受け入れ、互いに認めあい、誰もが安心して暮らしていける人間関係が築けると素晴らしいですね。

☆ 世界には72億人の人がいます。もしそれを100人の村に縮めると、村人はどのようになるでしょうか。

Q1 女性と男性、どちらが多いでしょうか？

A：女性 B：男性 C：同じ

Q2 子ども（15歳未満）はどのくらいいるでしょうか？

A：8人 B：14人 C：27人 D：50人

Q3 一番人が多いのは、どの地域でしょうか？

A：アジア B：南北アメリカ C：アフリカ D：ヨーロッパ

Q4 一番多く信仰されている宗教は何でしょうか？

A：仏教 B：イスラム教 C：ヒンドゥー教 D：キリスト教

☆ みなさんが住んでいる日本、そして栃木県に目を向けてみましょう。

Q5 日本を訪れる人が一番多いのは、どの地域でしょうか？

A：アジア B：南北アメリカ C：アフリカ D：ヨーロッパ

Q6 日本在留の外国人で一番多いのは？

A：アメリカ人 B：ブラジル人 C：中国人 D：フィリピン人

Q7 栃木県に宿泊した外国人観光客（1年間）で一番多いのは？

A：中国人 B：アメリカ人 C：台湾人 D：タイ人

Q8 栃木県に住んでいる外国人で一番多いのは？

A：中国人 B：ブラジル人 C：フィリピン人 D：ペルー人

Q9 栃木県がもし100人の村だったら、とちぎ村に住んでいる外国人は、およそ何人になるでしょうか？

A：1人 B：2人 C：3人 D：5人



- 質問に対する説明を聞いて、気付いたことや感じたことを記入しましょう。

- 外国人の視点から、想像できる日常生活における文化や生活習慣の違いによる悩みなどを、話し合しましょう。

- ・気付いた悩みごとや困っていることを、付箋紙に書きます。
- ・書いたものを、グループで出し合います。
- ・内容をもとに、まとまりを作ります。

- 日本に住んでいる外国人が住みやすい社会になるためには、どんなことができそうか話し合しましょう。

- 活動についてふりかえりをしましょう。



## ☆クイズの答えと解説☆

Q1 女性と男性、どちらが多いでしょうか？ 答え C：同じ

世界の人口は72億4400万人です。そのうち割合で示すと49.6%が女性で、50.4%が男性です。だから100人の村で例えると、女性・男性ともに50人ずつになります。  
(2014年)

Q2 子ども（15歳未満）はどのくらいいるでしょうか？ 答え C：27人

割合で示すと、26.6%が子ども（15歳未満）で、73.4%が大人です。だから、子どもは27人となります。(2013年)

Q3 一番人が多いのは、どの地域でしょうか？ 答え A：アジア

割合で示すと、アジアが60%、アフリカが15.5%、南北アメリカが13.6%、ヨーロッパが10.4%となります。だからアジアが一番多くなります。(2013年)

Q4 一番多く信仰されている宗教は何でしょうか？ 答え D：キリスト教

キリスト教が約23億9000万人（33%）で一番多く信仰されています。二番目に多いのがイスラム教で約16億7000万人（23.1%）となっています。つづいて、ヒンドゥー教が約9億7500万人（13.5%）、仏教が約5億1600万人（7.1%）となっています。あとは他の宗教の人や特に信仰する宗教がない人たちです。(2014年)

Q5 日本を訪れる人が一番多いのは、どの地域でしょうか？ 答え A：アジア

割合で示すと、アジアが80.7%、南北アメリカが8.7%、ヨーロッパが7.8%、アフリカが0.2%となっています。(2014年)

Q6 日本在留の外国人で一番多いのは？ 答え C：中国人

割合で示すと、中国人が一番多く、割合は30.9%です。アメリカ人は2.4%、ブラジル人は8.3%、フィリピン人は10.3%となっています。アジアの人々が全体の80%以上を占めています。(2014年)

Q7 栃木県に宿泊した外国人観光客で一番多いのは？

答え C：台湾人

2014年の1年間に、栃木県には、14万6千人もの外国人が観光で宿泊しました。台湾人が26,704人(18.2%)、次いでアメリカ人が15,963人(10.9%)、中国人が13,638人(9.3%)、タイ人が8,406人(5.7%)となっています。

Q8 栃木県に住んでいる外国人で一番多いのは？

答え A：中国人

栃木県には、2014年現在、112ヶ国の外国人が在留(住民基本台帳が適用される)しています。中国人が6,798人(21.7%)、次いでブラジル人が4,163人(13.3%)、フィリピン人が3,835人(12.2%)、ペルー人が3,178人(10.2%)となっています。

Q9 もし、栃木県が100人の村だったら、とちぎ村に住んでいる外国人は、およそ何人になるでしょうか？

答え B：2人

栃木県には、2014年現在、外国人は31,268人が在留しています。正確には、栃木県の人口の1.6%が外国人になります。



参照・出典：総務省統計局「世界の統計 2015」

日本政府観光局(JNTO)

ブリタニカ国際年鑑2015

法務省ホームページ

「平成26年末現在における在留外国人数について」より

栃木県産業労働観光部調査結果2014